

令和4年度 第2回青少年指導関係運営協議会 会議録

日 時 令和4年10月18日(火)  
午後2時40分から午後3時50分  
場 所 木更津市役所朝日庁舎会議室B

出席委員 加藤緑委員、中務公明委員、和田潤子委員、森竹慎子委員、  
荒木弓夫委員、鈴木義信委員、水島亨子委員、鳥飼優子委員、鈴木清委員

- 1 開会
- 2 まなび支援センター所長挨拶
- 3 協議
  - ①令和4年度まなび支援センター青少年指導関係活動中間報告について
  - ②情報交換

〔事務局から説明〕

それではただ今から、令和4年度第2回木更津市青少年指導関係運営協議会を開催いたします。会議開催にあたり委員14名のうち、出席者9名、欠席者5名過半数の出席がございますので、会議が成立しております。なお、本協議会は、木更津市審議会等の会議の公開に関する条例により公開されておりますが、本日の傍聴人はございません。

また、本協議会の会議録は木更津市のホームページ上で公開されます。

会議中、録音機により会議を録音しておりますので、ご承知おきください。

それでは、協議に入ります前に、木更津市まなび支援センター所長の内海よりご挨拶申し上げます。

内海所長あいさつ

〈事務局〉

ありがとうございました。

それでは、これから、協議に入りますが、齋藤会長が欠席されておりますので、木更津市まなび支援センター管理規則第3条第4項の規定によりまして、加藤副会長に議長をお任せいたします。

加藤副会長どうぞよろしくお願いいたします。

〈加藤副会長〉

それでは、協議に移りたいと思います。協議事項①といたしまして「令和4年度 まなび支援センター青少年指導関係活動中間報告について」事務局より説明願います。

所長 まなび支援センター 青少年指導関係活動中間報告について説明

〈加藤副会長〉

それでは、本年度の中間報告について、ご意見等ございましたらお願いいたします。

〈鳥飼委員〉

資料にありますネットパトロールとはどのようにしていますか？最近の事件で、自殺ほう助等が多く

取りざたされている。年齢的に、心がぐらついて、弱音を吐いてしまう方向にネットは持って行かれやすい。そんな時に悪い大人に引っかかってしまう。ネットパトロールの際は、強化して欲しい。

#### 〈事務局〉

インスタグラム等で、学校名などで検索して公開になっている子を注意して見ている。今まで、気をつけなければならない案件は無いが、注意深く見て行きたい。

#### 〈荒木委員〉

先日、警察関係の研修会で大麻についての事件が増加したと聞いた。まなび支援センターで、そのようなことを聞いているか？20代ぐらいが、中学生をターゲットにしているとの話だった。中学生であれば、簡単に騙せるからと。

#### 〈所長〉

警察からは、そのような情報提供は受けていないが、密に情報交換するように注意したい。

#### 〈加藤副会長〉

薬物の件であれば、警察からの情報提供が重要となる。まなび支援センターは、皆さまからの情報提供を参考に運営されるので、ご協力をお願いしたい。

皆様の普段の活動の中で感じたことなどをご提供頂き、この場で共有していきたい。

25歳以下から小学生の中学年ぐらいまでをZ世代と定義されている。この世代について等々、各委員からお話しいただきたい。

#### 〈中務委員〉

まず1点目。市教委からも注意の連絡がありましたが、交通事故が増加している。危険箇所のパトロールや啓発活動をしているが、なかなか減らない。交通指示などの修繕をもう少し進めてもらせると、未然に防げるものがあるかもしれない。2点目、SNSトラブルは、最近、アカウントの乗っ取りや、なりすまし等の相談が多く学校に持ち込まれる。保護者にも家庭での注意をお願いしたい。ネットは闇も深く、学校の対応にも限界があり、警察に協力依頼する案件もある。3点目、子ども達の間、「あきらめ感」というか、エネルギーが湧いて来ない感じがある。行事等が復活しても、マスクなどの制約があったり、withコロナとは言うが、もどかしい事が多い。

#### 〈和田委員〉

まさに「あきらめ感」の生徒が多い。定時制は不登校を経験している子が多く、コロナの休業が救いになる部分もあった。今、やっと頑張って登校して、夏休みを過ぎて、疲れてしまった子が多い。そういった子は学校、勉強、友達関係、生活のどこにも問題が起こった訳では無く、「めんどくさい」と。別に辞めてもいいや、めんどくさいからという感じで、とても残念でならない。今までの辞めてしまう子とはちょっと違う。先生方や保護者の話もよく聞かすが、とにかく「めんどくさい」。

どこかに繋がっていて欲しいと願うが、社会全体の問題かもしれない。ただ、経験値も少なくトラブルにもなりやすく、頭では分かっている問題を起こしてしまう。そして、『自分は悪くない。誰かのせい。』そう言うところが、共通している。

一方、今までできなかった分、頑張っている子もいる。ただ、心に病を抱えている子は季節が変わる時などは気をつけなければならない。

女子高の体育祭の練習中にマスクを外しなさいと言っても、だれも外さない。皆しているからとの空気感があり、この先が心配です。

不審者情報も増えていて、駅の近くでの露出や、腕を引っ張られたり、電車の中で盗撮をされたり、相手はスーツを着た中年のサラリーマンなどのいい大人で、子ども達が大人を信用できなくなる。自衛しなさいとは言うものの、それだけでは防げない。

#### 〈森竹委員〉

子育て支援課では、就学前の子が対象で、関わりあうのは保護者。コロナになったから変わった事などは感じていない。

#### 〈荒木委員〉

コロナの関係等で学校との会議等は少ないが、少しずつ行事が復活してきて関わりが持てるようになってきた。とにかく、大麻の件が心配なところ。

#### 〈鈴木義信委員〉

木更津警察署少年警察ボランティアは、生活、防犯指導を防犯指導員として、月2回袖ヶ浦駅、木更津駅周辺を午後7時から街頭指導を行っていますが、問題行為もありません。

今後、ソフトバレーボールを通じて、コミュニケーションを図って行く予定。

#### 〈水島委員〉

青少年相談員は、各地区7から8名の相談員がいます。4市合同のイベントも開催でき、子ども達の喜ぶ姿が見られて良かった。

先程、自殺ほう助の話があったが、中高生は直ぐに「死んじゃえ」「死にたい」と口に出してしまう事がある。人のせいにする子などにも、どのように言ったらいいのか、こちらの接し方の勉強の場があればいいと思う。スマホの使い方についても、子どもの方がずっと詳しいので、何をしているのか分からない事が多い。

#### 〈鳥飼委員〉

言い方が難しいですが、学校に行かなくてもいいという、選択もあると思う。逃げた先で幸せになることもあるので、今の立場から逃避しても、生きていればなんとかなる。辛く苦しい思いを誰かが受けとめてあげられたらと。ギリギリのところまで生きている子を救いたい。

#### 〈加藤副会長〉

逃げてても良いと思えない子もいて、真に受けるだけでなく、自分で考える力が少しでもあればと思ってしまう。

#### 〈鈴木清委員〉

こども会は会員が減って、なかなか事業もできない状況です。9月に行ったイベントは100名ぐらい参加があった。10月に市のキャンプ場を使ったイベントにもブースを出す予定。

#### 〈加藤副会長〉

大学生は質が変わってきているというか、SNSが生活の中心で、“いいね”の件数で一喜一憂してい

て、実習中にスマホはいけないと言っても触ってしまう子や、実習先での辛かった事を簡単にアップしてしまい、今までは、友達同士で注意しあっていたような事を先生から注意して欲しいと持ってくる。関係自体が希薄なのか、関係が悪くなるのが心配なのか。

その他に、いわゆるナンパの形も変わってきていて、アルバイト先で名札で名前を見て、SNSを検索し、ダイレクトメッセージが来るとか、マッチングアプリが当たり前になってきている。

〈和田委員〉

確かに高校生も同じで、投稿をスクリーンショットして、『いけないですよ、注意して下さい。』と証拠を持ってくる。正義感でやっているのだろうけど、注意もしづらい。ひと昔前の小学生のよう。

〈加藤副会長〉

問題が起きた時に自分達で解決できない、しようしない子が多くなったと思う。社会全体の事なのかもしれないが、中学校も同じ？

〈中務委員〉

携帯電話を学校や校外学習に持って来れないので、そのような形では無いです。

〈加藤副会長〉

何か問題が起きても、大人が追い付いていけないのかもしれない。見守りきれていない。

〈和田委員〉

そして子供達は、どうしても自分は大丈夫だと思ってしまうのだと思う。

〈水島委員〉

子供達を入れてワークショップのようなものを開催してみてもはどうでしょうか？子供から学ぶ、意見を聴く必要があると思う。もう、街中にたむろするような子供がいるわけがない。子供達に休日はどこで、何をしているのかなどを聞いてみたい。

〈加藤副会長〉

補導される子供が少なくなり、水面下で何が起きているのか分からない。これからは、そこを注意して行かなければならないと思います。

では、他にご意見等はありませんでしょうか？なければ、時間の制限もございますので、事務局へお返しして、私の方は終わりにします。

〈事務局〉

貴重なご意見等ありがとうございました。

委員の皆様方のご意見を参考にしながら、まなび支援センターの事業を進めてまいりたいと思います。

次回、第3回の運営協議会は令和5年2月14日(火曜日)を予定しております。どうぞ、よろしくお願いいたします。それでは、これをもちまして、本日の会を閉会いたします。

ご協力ありがとうございました。